

第二十四回

熊本城（熊本県熊本市）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

熊本市賞

石垣が無くても美形熊本城

大阪府大阪市

城戸

博彦

特選三句

秋祭城の広場のにぎはへり

福岡県大野城市

織畠

幸子

ウミガメが選んでくれた白い浜

鹿児島県いちき串木野市

棚町

健也

故ありて銀杏白ふ堀の端

熊本県熊本市

角田

光明

投句総数

九句

開函日

平成二十八年十月三十一日

第二十四回

法隆寺周辺（奈良県斑鳩町）

「愛媛若葉」 主宰 高岡 周子 選

奈良・斑鳩町賞

斑鳩の三塔けふる秋の雨

大阪府松原市 古高 厚子

特選三句

小鳥来る風鐸響く法輪寺

大阪府東大阪市 中森 美代子

会釈して野梅の坂の修行僧

大阪府大阪市 沖田 明彦

塔から塔歩けば遠し野路の秋

奈良県生駒郡 野手 信江

投句総数 一七四 句

開函日 平成二十八年十月三十一日

第二十四回

博物館明治村（愛知県犬山市）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

子規はいく賞

秋の日の翳を掃きゆく竹箒

愛知県春日井市 野田 公雄

秋澄めり幸田露伴の文机

愛知県瀬戸市 植田 義男

漱石邸塵一つなき良夜かな

新潟県新潟市 瀧宮 龍一

特選三句

蛸やけん玉の糸絡まりぬ

静岡県浜松市

森 志保

教会の尖塔に触れ秋の空

岐阜県瑞穂市

宮本 直子

だんだんとすすしくなるよとおい空

愛知県名古屋市

阿部 裕希

投句総数 一六七 句

開函日 平成二十八年十月三十一日

第二十四回

子規庵（東京都台東区）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

特選三句

小鳥来る子規終焉の六畳間

愛知県尾張旭市

後藤

邦代

直筆の画賛読み入る子規忌かな

埼玉県狭山市

古谷

彰宏

拓本の跡ある子規の墓洗ふ

埼玉県狭山市

古谷

多賀子

投句総数

八八句

開函日 平成二十八年十月三十一日

第二十四回

記念艦「三笠」(神奈川県横須賀市)

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

特選三句

秋雨や真之がいて子規がいて

愛媛県松山市

門田

邦彦

日傘さし歩く横須賀盆休み

東京都中野区

菊地

詩織

梅雨明けに規律を正す三笠艦

神奈川県三浦郡

土屋

雄三郎

投句総数

三六句

開函日

平成二十八年十月三十一日

第二十四回

大和ミュージアム（広島県呉市）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

特選三句

海底の菊の紋章夏の果

石川県河北郡

太田

淳子

海開き白砂をふみて子らがゆく

神奈川県横浜市

笠井

聡

秋天に映ゆる第一主砲かな

兵庫県尼崎市

大沼

秋獅子

投句総数

四九句

開函日

平成二十八年十月三十一日

第二十四回

歴史博物館・漱石公園（東京都新宿区）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

特選三句

蝉時雨息子の課題徹夜して

東京都新宿区

砂田

良介

長き夜をなほ長くして本を読む

東京都新宿区

大畑

雅敬

金魚玉花街の灯を映しけり

東京都新宿区

石黒

大作

投句総数

七八句

開函日

平成二十八年十月三十一日



第二十四回

鶴ヶ城（福島県会津若松市）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

特選三句

石垣の確と組まれて秋暑し

埼玉県狭山市

栗原

憲司

秋晴や水面に映ゆる赤瓦

岩手県北上市

吉本

潔司

嫁ぐ子の最後の夏を鶴ヶ城

埼玉県三郷市

齋藤

久江

投句総数

九九句

開函日 平成二十八年十月三十一日

第二十四回

東松山市（埼玉県東松山市）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

特選三句

袈裟がけに竜馬の像の蔦紅葉

埼玉県東松山市

大井

正行

幾世代続く農家や胡麻の花

埼玉県東松山市

大井

津由子

一尺の串に鮎焼く道の駅

埼玉県東松山市

小峯

知治

投句総数 五六句

開函日 平成二十八年十月三十一日

第二十四回

羽二重団子本店（東京都荒川区）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

特選三句

熊笹へ姥百合の種弾けけり

東京都江戸川区

小川 一夫

羽二重のだんご二串秋彼岸

東京都杉並区

田中 はじめ

雲速し野分の後の水たまり

東京都荒川区

谷井 千絵

投句総数 九八句

開函日 平成二十八年十月三十一日